

第 5 編

付 属 資 料

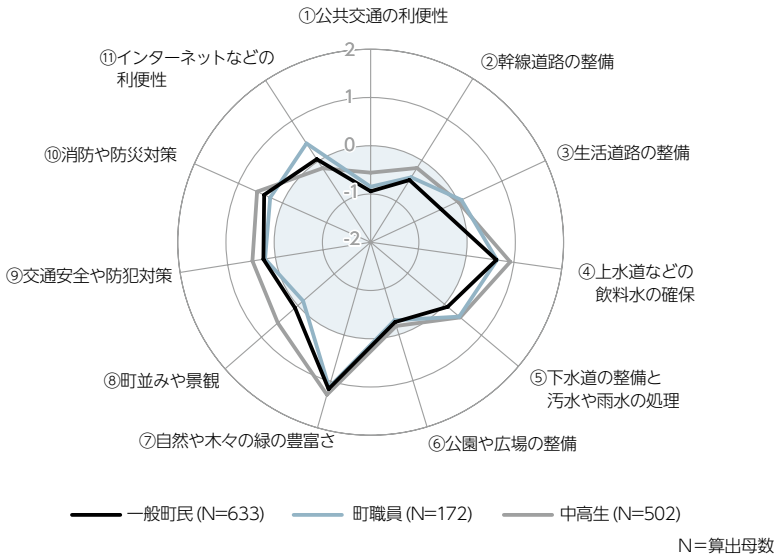
1. 第四次丸森町長期総合計画の評価
2. アンケート調査結果
3. 策定経過
4. 策定体制

1. 第四次丸森町長期総合計画の評価

■社会生活環境

「自然や木々の緑の豊富さ」については、他の項目と比較しても特に高い満足度になっています。一方、「公共交通の利便性」、及び「幹線道路の整備」は、満足度が低くなっています。

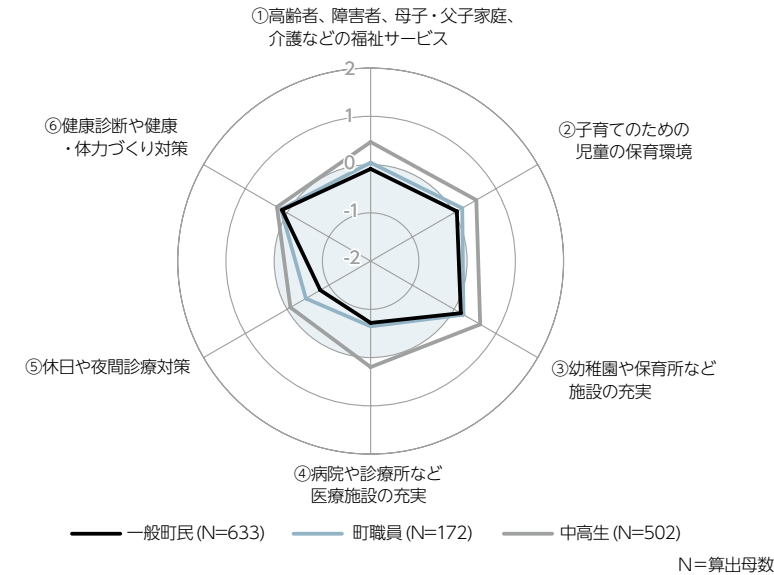
■社会生活環境（満足度）



■保健・福祉・医療

町職員と一般町民については、「医療施設の充実」、「休日や夜間診療対策」など医療への満足度が低くなっています。

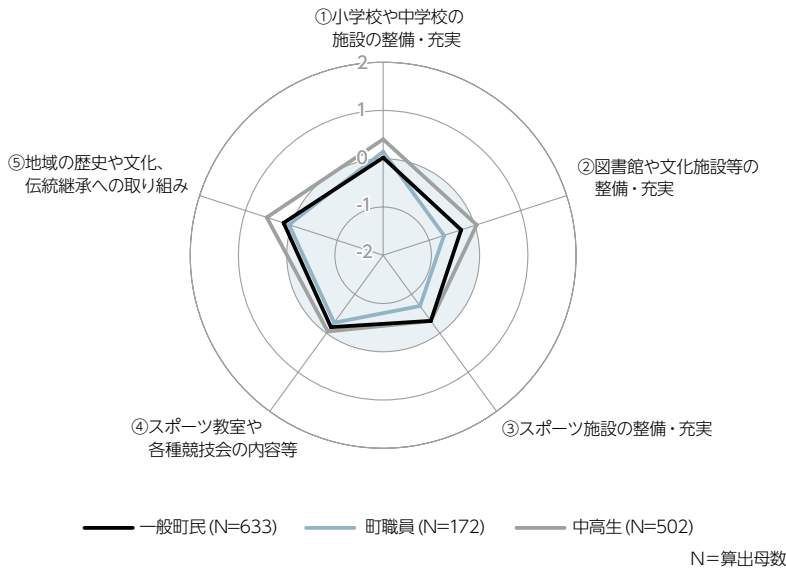
■保健・福祉・医療（満足度）



■教育・文化

「図書館や文化施設等の整備・充実」については、町職員、一般町民の満足度が低くなっています。また、「スポーツ施設の整備・充実」は、中高生、町職員、一般町民いずれも低い満足度です。

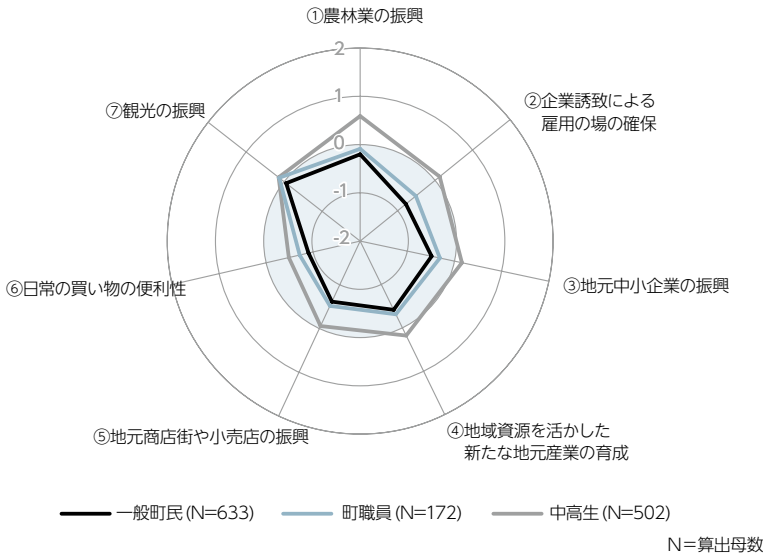
■教育・文化（満足度）



■産業振興

町職員や一般町民については、農林業、観光の振興を除く項目で満足度が低くなっています。中高生は、比較的平均的な満足度ですが、その中で「日常の買い物の利便性」については満足度が低く、「農林業の振興」は満足度が高くなっています。

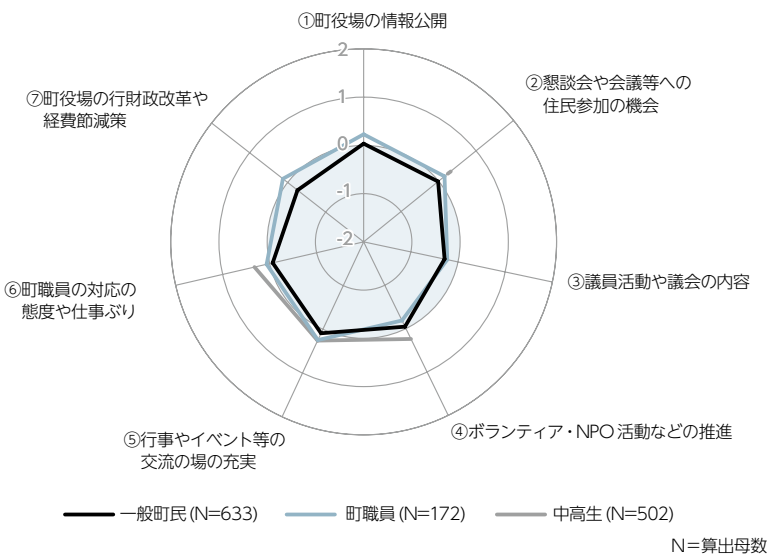
■産業振興（満足度）



■行財政

比較的平均的な満足度ですが、その中で「議会活動や議会の内容」については町職員、一般町民で、また、「町役場の行財政改革や経費節減策」は一般町民において満足度がやや低くなっています。

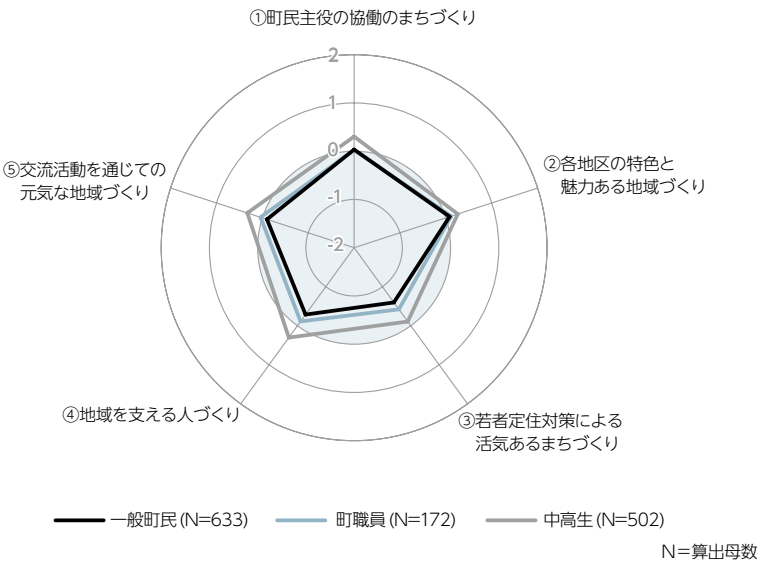
■行財政（満足度）



■地域づくり

中高生は平均的な満足度ですが、町職員、一般町民については「若者定住対策による活気あるまちづくり」、「地域を支えるひとづくり」の満足度が低くなっています。

■地域づくり（満足度）



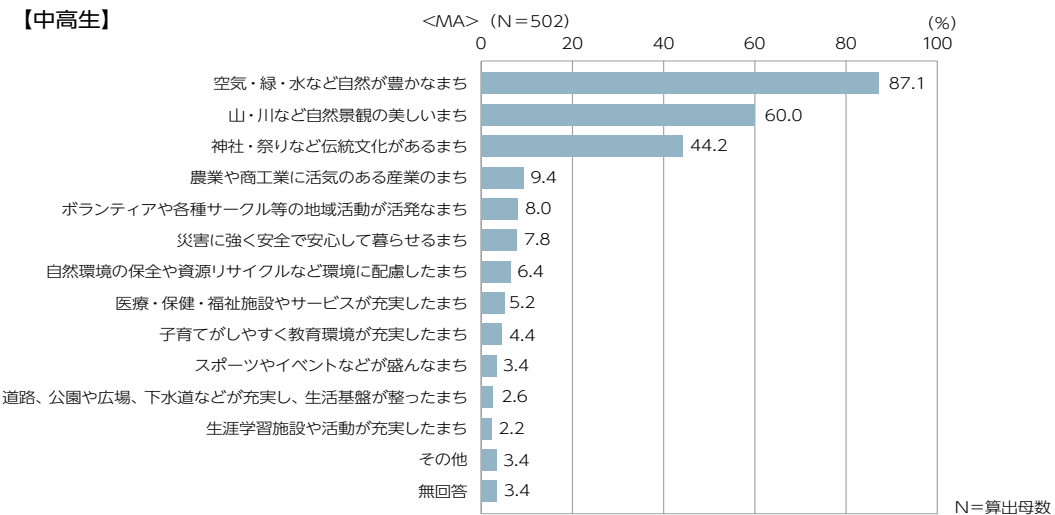
2. アンケート調査結果

	中高生アンケート調査	一般町民アンケート調査
調査期間	平成 25 年 10 月 17 日～ 30 日	平成 25 年 9 月 27 日～ 10 月 10 日
配布票数	602 票	1,500 票
回収票数	502 票	633 票
回収率	83.4%	42.2%

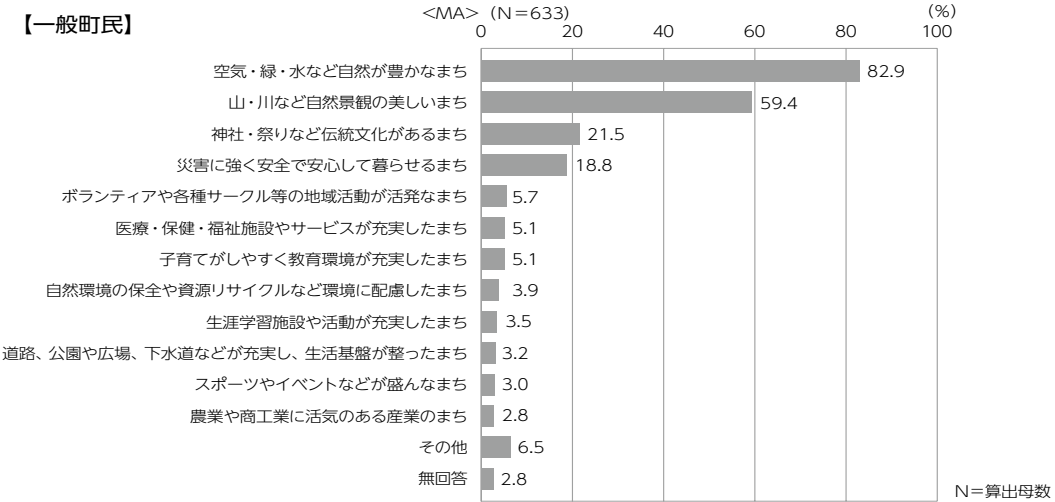
■あなたの丸森町のイメージは？ <MA：複数回答設問>

丸森町のイメージでは、中高生、一般町民ともに「空気・緑・水など自然が豊かなまち」が最も多く8～9割を占めています。次いで「山・川など自然景観の美しいまち」、「神社・祭りなど伝統文化があるまち」の順に多くなっており、自然と伝統文化が豊かなまちとのイメージが強いようです。

【中高生】

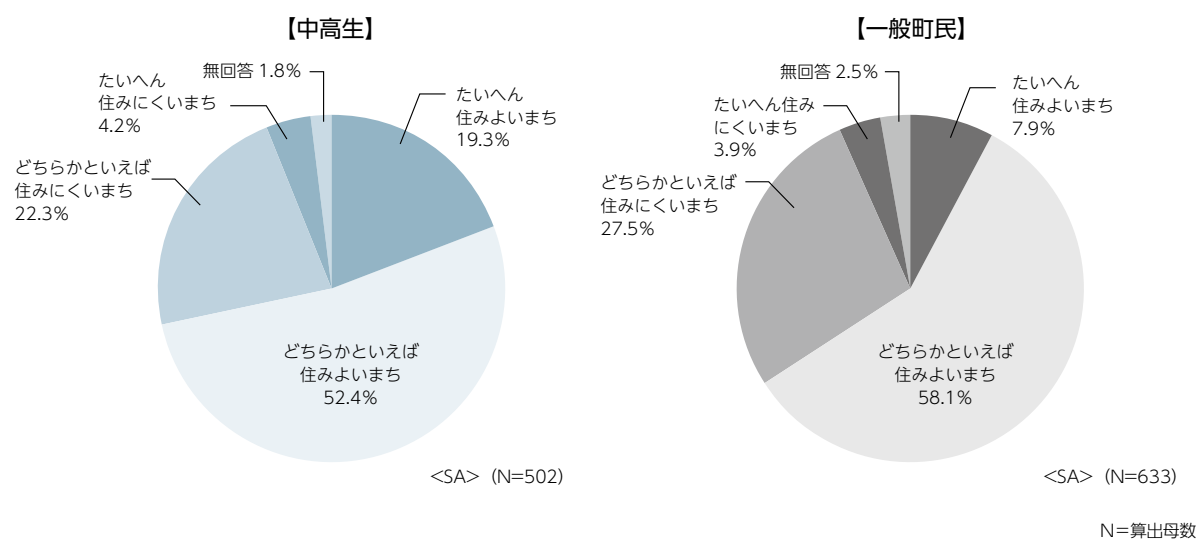


【一般町民】



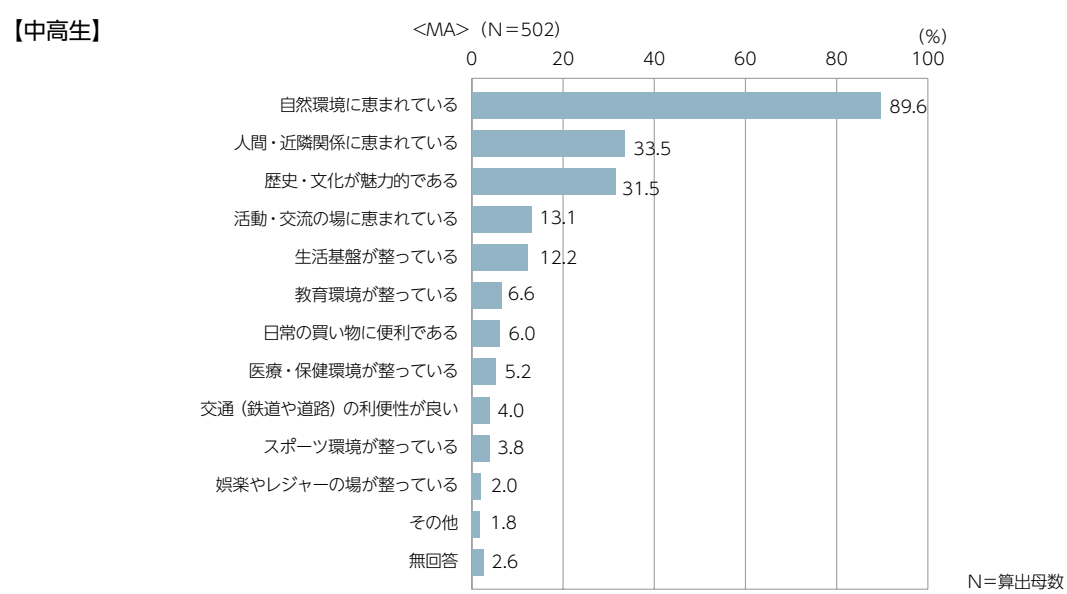
■あなたにとって丸森町は住みよいまちですか？ <SA：単一回答設問>

中高生、一般町民のいずれも約 7 割の方が「たいへん住みよいまち」、あるいは「どちらかといえば住みよいまち」と回答しています。

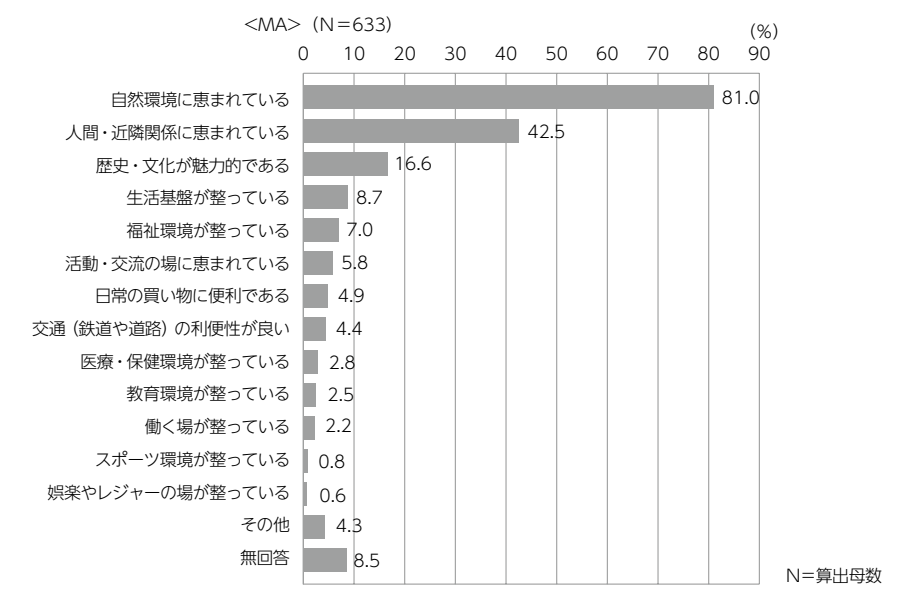


■あなたにとって丸森町の住みよい点は何ですか？ <MA：複数回答設問>

「自然環境に恵まれている」が最も多く、中高生では 9 割、一般町民では 8 割を占めています。次いで、中高生、一般町民いずれも「人間・近隣関係に恵まれている」、「歴史・文化が魅力的である」の順に高い割合です。



【一般町民】

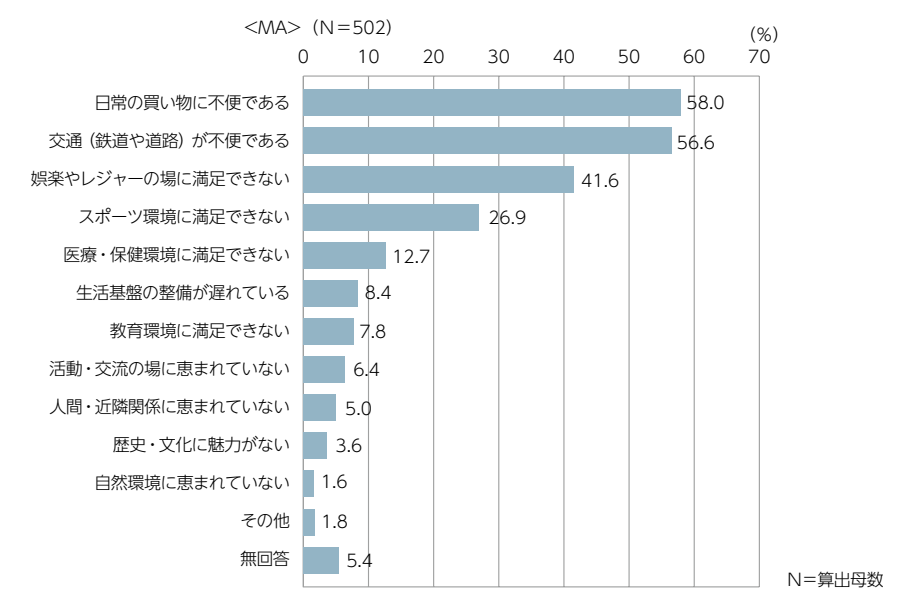


■あなたにとって丸森町の住みにくい点は何ですか？ <MA：複数回答設問>

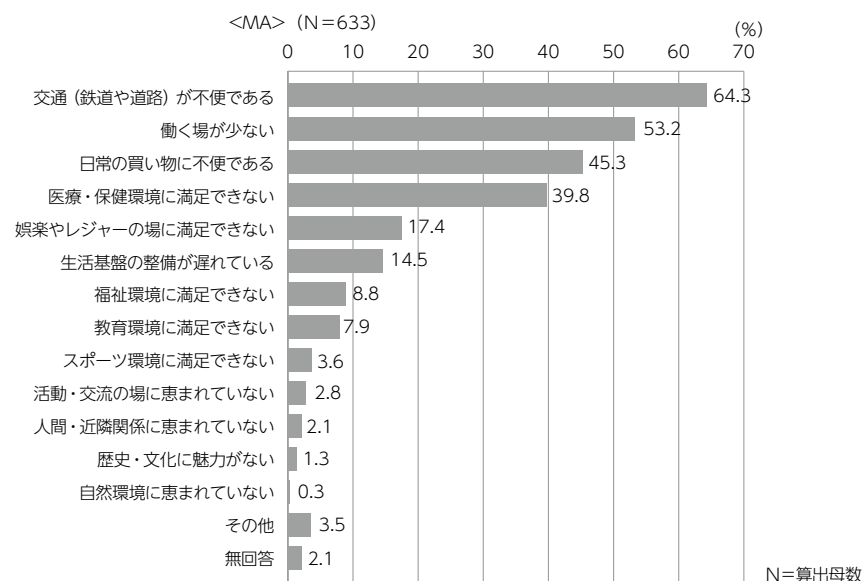
住みにくい点の上位 3 位までをあげると、中高生において最も多いのは「日常の買い物に不便である」で 58.0%です。次いで、「交通（鉄道や道路）が不便である（56.6%）」、「娯楽レジャーの場に満足できない（41.6%）」の順に続きます。

一般町民では、「交通（鉄道や道路）が不便である」が最も多く 64.3%を占めています。次いで「働く場が少ない（53.2%）」、「日常の買い物に不便である（45.3%）」、「医療・保健環境に満足できない（39.8%）」などの順に続きます。交通、就業、買い物、医療などの不便さで住みにくさを感じているようです。

【中高生】



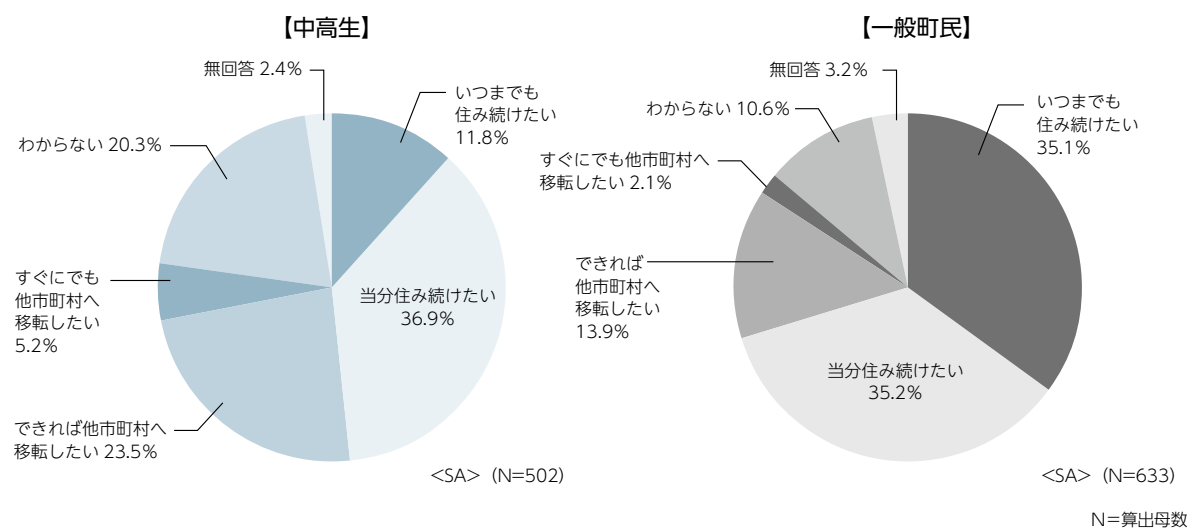
【一般町民】



■これからも丸森町に住み続けたいと思いますか？ <SA：単一回答設問>

居住の継続意向では、中高生の半数、一般町民の7割の方が「いつまでも住み続けたい」、あるいは「当分住み続けたい」と回答し、居住の継続を考えているようです。

一方、「できれば他市町村へ移転したい」と「すぐにでも他市町村へ移転したい」を合わせると中高生では28.7%、一般町民では16.0%となっています。



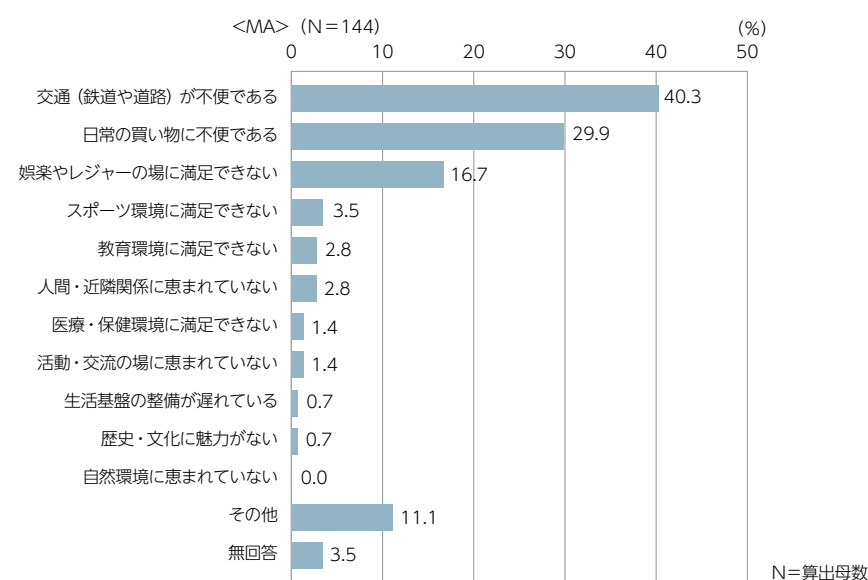
■他市町村へ移転したいと思う、最も大きな理由は何ですか？ <SA：単一回答設問>

「移転したい」あるいは「移転を考えている」とする理由で最も多いのは、中高生、一般町民ともに「交通（鉄道や道路）が不便である」となっています。

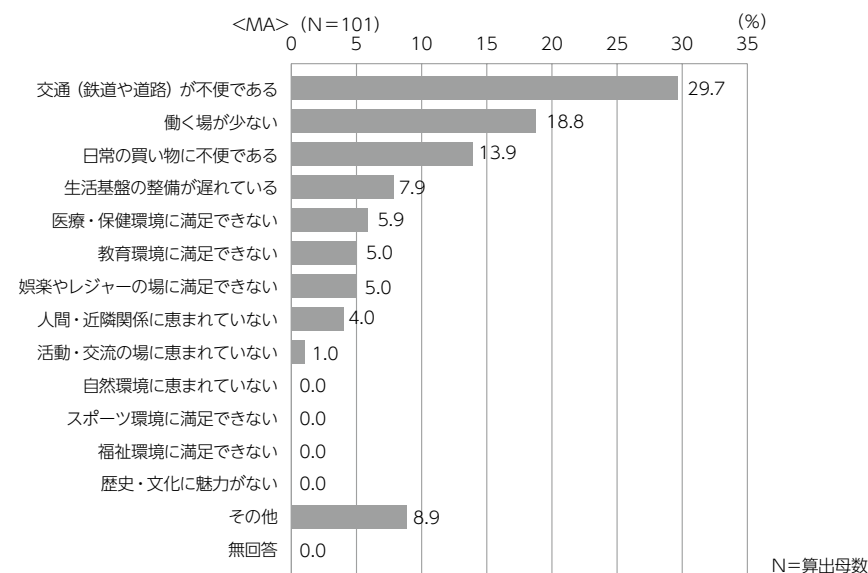
次いで、中高生では、「日常の買い物に不便である（29.9%）」、「娯楽やレジャーの場に満足できない（16.7%）」、一般町民では、「働く場が少ない（18.8%）」、「日常の買い物に不便である（13.9%）」などの順に続きます。

これらは、概ね「住みにくさ」の理由と共通しています。

【中高生】



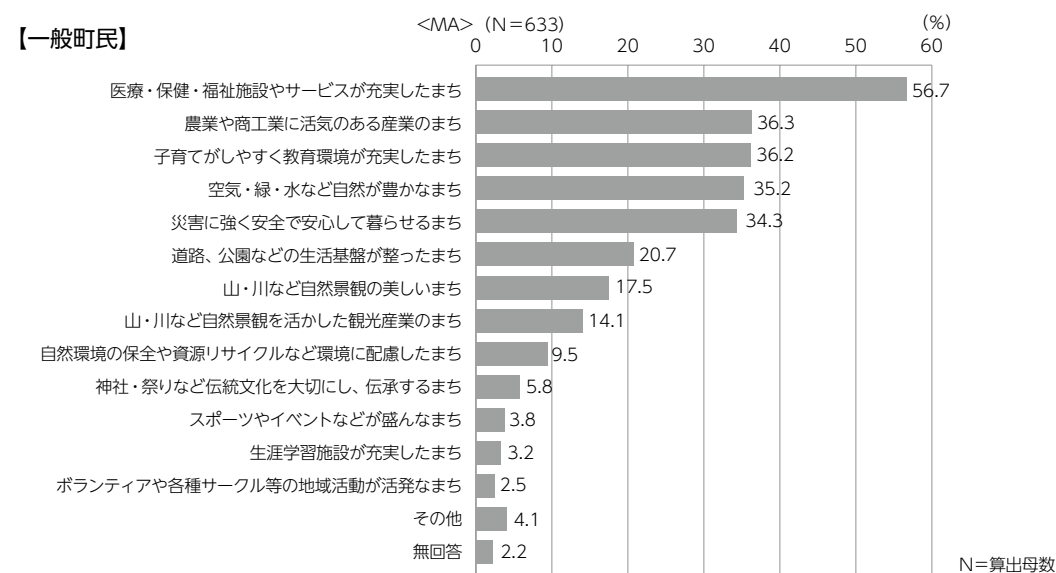
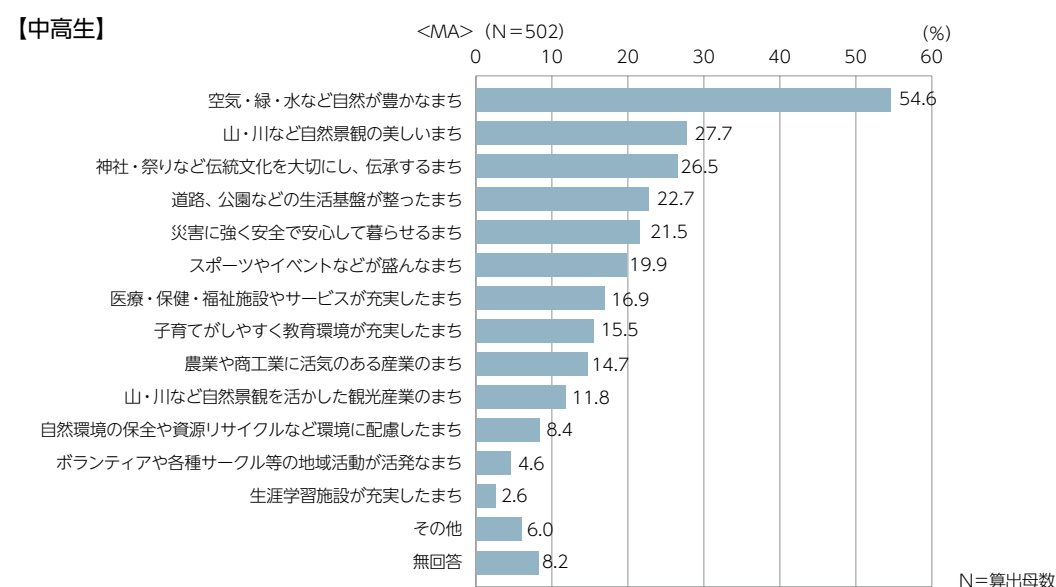
【一般町民】



■丸森町の将来的なイメージについて <MA：複数回答設問>

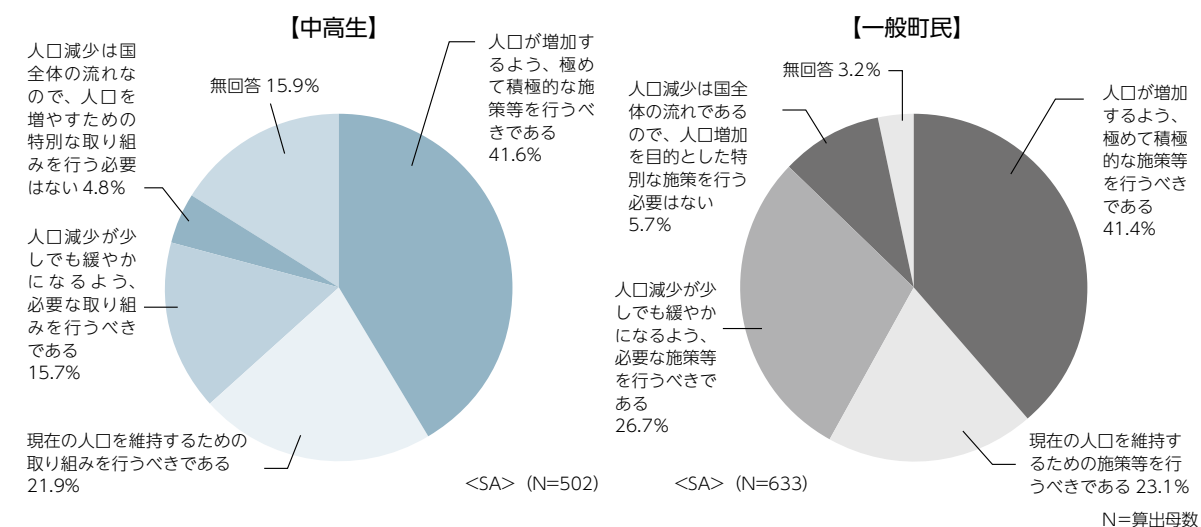
将来的なイメージの上位3位までをあげると、中高生では、最も多いのが「空気・緑・水など自然が豊かなまち」で54.6%を占め、次いで「山・川など自然景観の美しいまち（27.7%）」、「神社・祭りなど伝統文化があるまち（26.5%）」の順に続きます。

一般町民では、「医療・保健・福祉施設やサービスが充実したまち」が最も多く56.7%を占め、次いで「農業や商工業に活気のある産業のまち（36.3%）」、「子育てがしやすく教育環境が充実したまち（36.2%）」、「空気・緑・水など自然が豊かなまち（35.2%）」、「災害に強く安全で安心して暮らせるまち（34.3%）」などが順に続きます。



■丸森町の今後の人口等について <SA：単一回答設問>

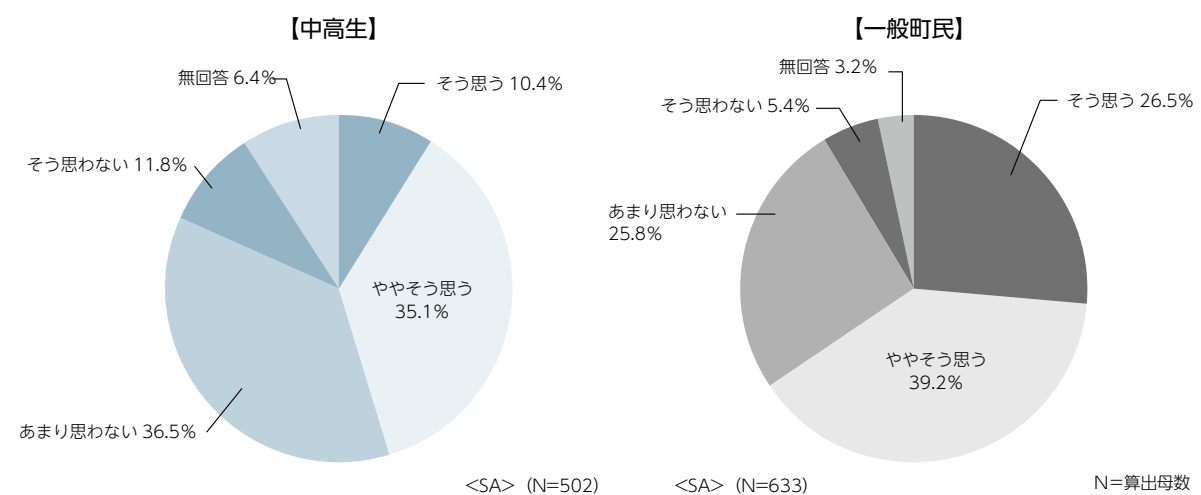
今後の人口等についての考えで最も多いのが、中高生、一般町民ともに「人口が増加するよう、積極的な取り組みを行うべきである」で4割を占めています。次いで、中高生では「現在の人口を維持するための取り組みを行うべきである（21.9%）」、「人口減少が少しでも緩やかになるよう、必要な取り組みを行うべきである（15.7%）」、一般町民では、「人口減少が少しでも緩やかになるよう、必要な取り組みを行うべきである（26.7%）」、「現在の人口を維持するための取り組みを行うべきである（23.1%）」の順に続きます。



■町政（町の仕事）に関心がある <SA：単一回答設問>

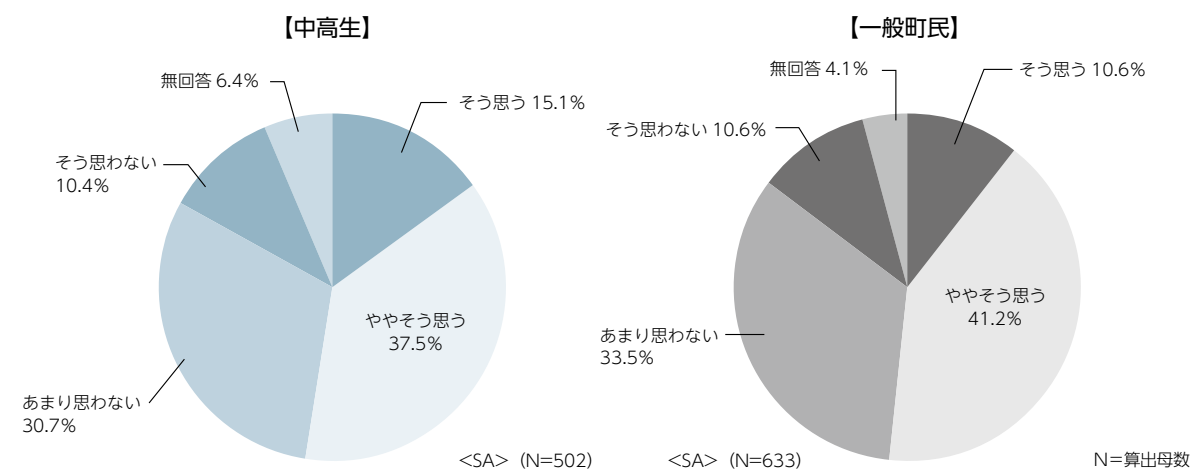
町の仕事への関心は、中高生では、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると45.5%、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせると48.3%と、関心が低い人の占める割合がやや高くなっています。

一方、一般町民においては、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると65.7%、「あまり思わない」と「そう思わない」を合わせると31.2%と、関心を持っている人の割合の方が高くなっています。



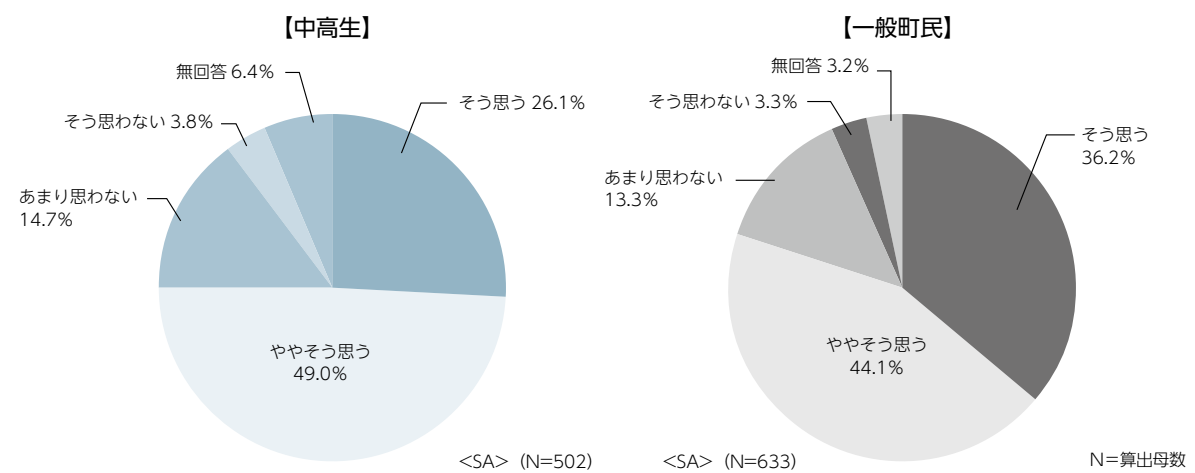
■ 今後、ボランティア活動などの町民活動に参加したい <SA：単一回答設問>

町民活動への参加についての考えは、中高生、一般町民ともに「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると、参加を考えている人の割合が半数を占めています。



■ これからのまちづくりには町民の参画や協働が必要だ <SA：単一回答設問>

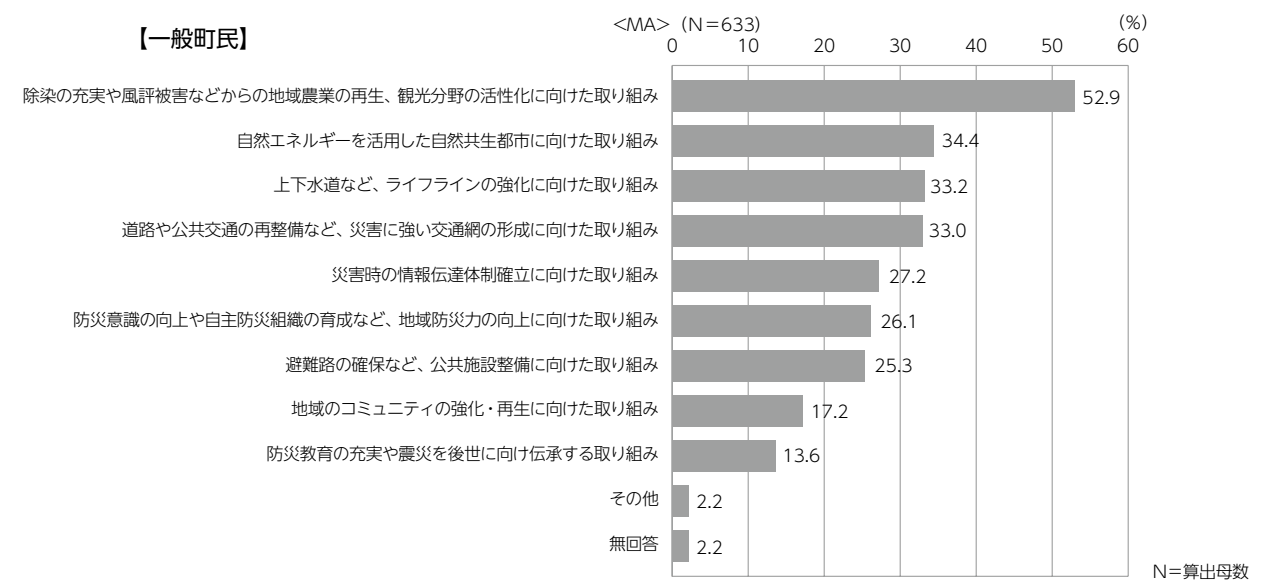
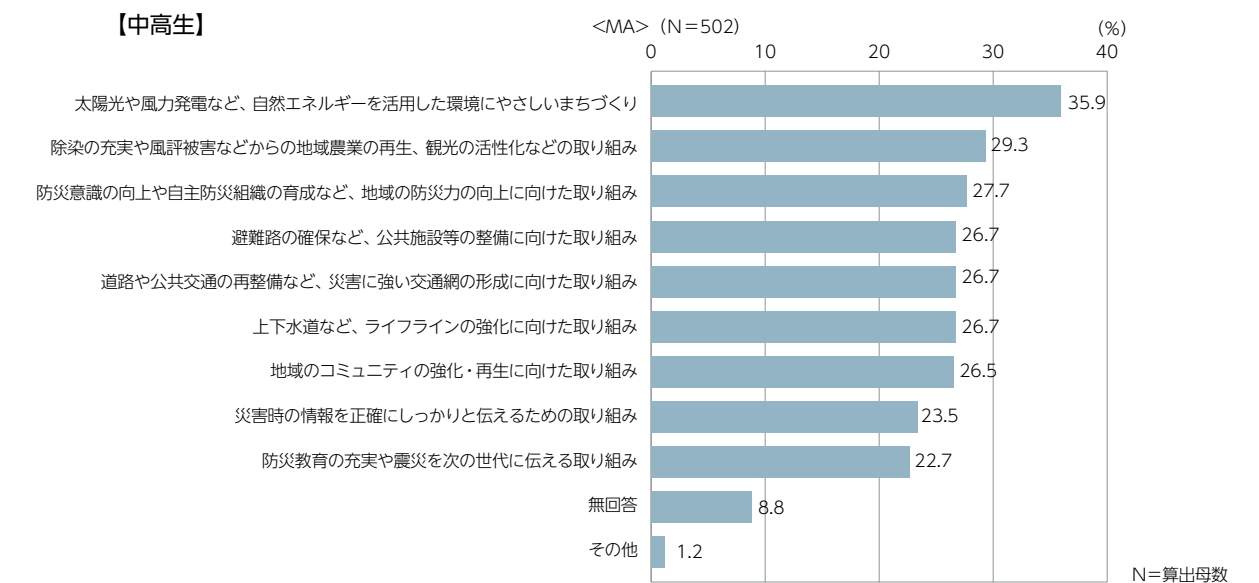
まちづくりへの町民の参画や協働についての考えは、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると中高生では 75.1%、一般町民では 80.3%となり、町民のまちづくりへの参画や協働の必要性を考えている人の割合はいずれも 8 割程度となっています。



■ 丸森町が重点的に取り組むべきことは何だと思われますか？ <MA：複数回答設問>

今後丸森町が重点的に取り組むべきことの上位 3 位までをあげると、中高生において最も多いのは「太陽光や風力発電など、自然エネルギーを活用した環境にやさしいまちづくり」で 35.9%を占めています。次いで、「除染の充実や風評被害などからの地域農業の再生、観光の活性化などの取り組み（29.3%）」、「防災意識の向上や自主防災組織の育成など、地域の防災力の向上に向けた取り組み（27.7%）」の順に続きます。

一般町民においては、最も多いのは「除染の充実や風評被害などからの地域農業の再生、観光分野の活性化に向けた取り組み」で 52.9%を占めています。次いで、「自然エネルギーを活用した自然共生都市に向けた取り組み（34.4%）」、「上下水道など、ライフラインの強化に向けた取り組み（33.2%）」、「道路や公共交通の再整備など、災害に強い交通網の形成に向けた取り組み（33.0%）」などが順に続きます。

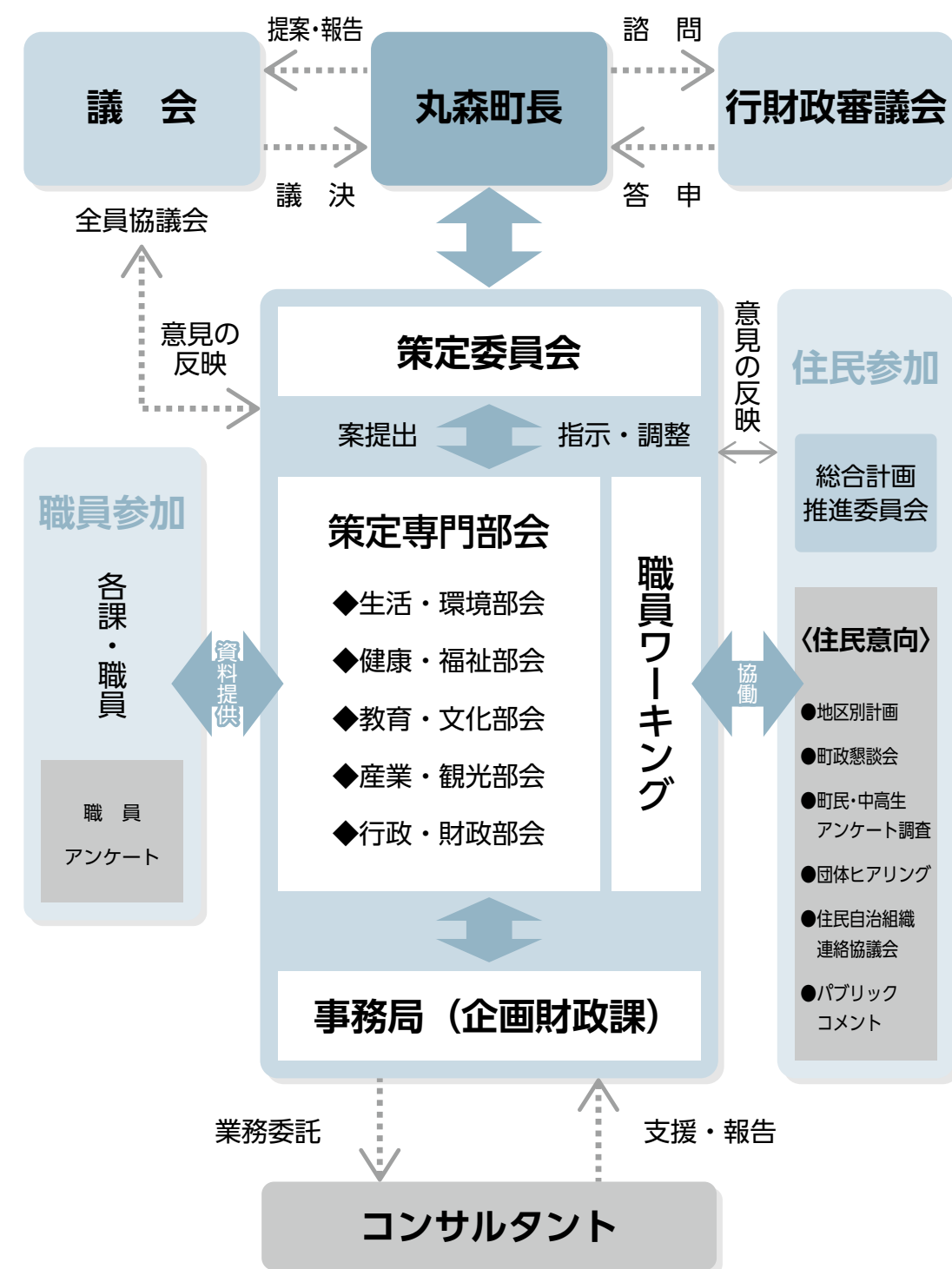


3. 策定経過

月 日	内 容
平成25年 9月30日	庁議〔策定方針決定〕
9月27日 ～10月10日	①町民アンケート調査実施〔町内在住者 1,500 名対象〕 ②中高生アンケート調査実施〔602 名対象（丸森中学校：364 名、伊具高校生：125 名、角田高校生：113 名）
11月 6 日	職員研修会（基調講演・トークセッション）開催〔111 名出席〕
11月14日 ～16日	町政懇談会開催〔策定方針、町民アンケート結果説明〕
11月19日	職員アンケート調査実施〔対象：181 名〕
平成26年 2月12日	職員ワーキング開催（第 1 回）〔職員提案プロジェクト検討〕
2月12日	各種団体ヒアリング（観光分野）開催
2月18日	職員ワーキング開催（第 2 回）〔職員提案プロジェクト検討〕
3月 5 日	職員ワーキング開催（第 3 回）〔職員提案プロジェクト検討〕
3月14日	町長トップインタビュー実施
3月18日	職員ワーキング開催（第 4 回）〔職員提案プロジェクト検討〕
3月26日	平成 25 年度丸森町総合計画推進委員会（第 1 回）開催 〔策定方針、スケジュール、基礎調査結果〕
4月 9 日	職員ワーキング開催（第 5 回）〔職員提案プロジェクト検討〕
4月 9 日	各種団体ヒアリング（農政分野）開催
4月11日	各種団体ヒアリング（商業・子育て分野ほか）開催
4月23日	議員全員協議会〔策定方針、スケジュール、基礎調査結果説明〕
5月12日 ～14日	各種団体ヒアリング（各地区自治組織）開催〔地区現況課題の確認〕
5月26日	策定委員会開催（第 1 回）〔骨子（案）審議〕
5月28日	平成 26 年度丸森町総合計画推進委員会（第 1 回）開催 〔骨子（案）等審議〕

月 日	内 容
平成26年 6月11日	議員全員協議会〔進捗状況説明〕
6月25日	策定専門部会（第 1 回）開催〔施策体系、事務事業整理検討〕
8月28日	策定専門部会（第 2 回）開催〔施策体系等検討〕
9月24日	策定専門部会（第 3 回）開催〔基本構想等検討〕
10月 8 日	策定委員会（第 2 回）開催〔基本構想（案）検討〕
10月15日	平成 26 年度丸森町総合計画推進委員会（第 2 回）開催 〔基本構想（案）検討〕
10月22日	丸森町行財政審議会（第 1 回）開催〔基本構想（案）説明〕
10月24日	議員全員協議会〔基本構想（案）説明〕
10月24日 ～11月 7 日	パブリックコメント実施〔基本構想に係る意見募集〕
11月12日 14日 15日	町政懇談会開催〔基本構想に係る意見交換〕
11月17日	策定委員会（第 3 回）開催〔基本構想（案）策定〕
11月19日	行財政審議会（第 2 回）開催〔基本構想 答申〕
12月 1 日	策定専門部会（第 4 回）開催〔基本計画、実施計画検討〕
12月 5 日	第五次丸森町総合計画基本構想 議決
12月22日	策定専門部会（第 5 回）開催〔重点プロジェクト等検討〕
平成27年 1月20日	策定専門部会（第 6 回）開催〔基本計画（案）策定〕
1月26日	策定委員会（第 4 回）開催〔重点プロジェクト、基本方針検討〕
2月23日	策定委員会（第 5 回）開催〔総合計画書（案）策定〕
3月 4 日	議員全員協議会〔総合計画書（案）報告〕
3月20日	平成 26 年度丸森町総合計画推進委員会（第 3 回）開催 〔総合計画書（案）報告〕

4. 策定体制



第五次丸森町総合計画策定委員会設置要綱

- (設置)
- 第1条 第五次の丸森町総合計画を策定するため、第五次丸森町総合計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。
- (組織)
- 第2条 策定委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。
- 2 委員長は、副町長をもって充てる。
- 3 副委員長は、教育長をもって充てる。
- 4 委員は、会計管理者、総務課長、企画財政課長、町民税務課長、保健福祉課長、子育て支援課長、農林課長、商工観光課長、建設課長、原発事故対策室長、学校教育課長、生涯学習課長、議会事務局長、農業委員会事務局長、丸森病院事務長、農業創造センター研究部長、結婚相談所長及び協働のまちづくり専門官をもって充てる。
- (職務)
- 第3条 委員長は、委員会を統括する。
- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。
- (会議)
- 第4条 委員長は、必要がある場合、その都度会議を招集し、議長となる。
- (策定専門部会)
- 第5条 計画案策定の事務を行うにあたり、現況の把握と課題整理のための調査を行い、各分野別の主要施策をまとめるため、次の策定専門部会を置く。
- (1)生活・環境部会
- (2)健康・福祉部会
- (3)教育・文化部会
- (4)産業・観光部会
- (5)行政・財政部会
- 2 策定専門部会に、部会長、副部会長及び委員を置く。
- 3 部会長は、必要がある場合、その都度専門部会を招集し、会議の議長となる。
- 4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代行する。
- (職員ワーキング)
- 第6条 計画策定に必要な、現況調査や町民意向調査等の結果を踏まえ、分野別計画に横断的に取り組む戦略計画を検討するため、職員ワーキングを開催する。
- (庶務)
- 第7条 策定委員会、策定専門部会及び職員ワーキングの庶務は、企画財政課において処理する。
- (委任)
- 第8条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。
- 附 則
- この要綱は、平成25年10月1日から適用する。

◆丸森町総合計画推進委員会名簿

No.	氏 名	地 区	職 名
1	佐 藤 勝 栄	丸 森	委員長
2	菊 地 友 一	大 内	副委員長
3	八 巻 千賀子	丸 森	委 員
4	佐 藤 隆 一	金 山	委 員
5	佐 藤 伸 子	金 山	委 員
6	門 間 郁 子	筆 甫	委 員
7	太 田 茂 樹	筆 甫	委 員
8	伊 藤 誠 一	大 内	委 員
9	渡 邊 芳 廣	小 斎	委 員
10	松 野 のぶ子	小 斎	委 員
11	梅 津 忠 雄	館矢間	委 員
12	工 藤 すみ子	館矢間	委 員
13	佐 藤 正 敏	大 張	委 員
14	伊 藤 純 子	大 張	委 員
15	八 島 哲 郎	耕 野	委 員
16	佐 藤 静 男	耕 野	委 員

◆第五次丸森町総合計画策定委員会名簿

No.	氏 名	職 名
1	佐 藤 仁一郎	副町長（委員長）
2	佐 藤 隆 夫	教育長
3	引 地 裕 昭	会計管理者
4	佐々木 秀 之	総務課長
5	栗 野 由 三	企画財政課長
6	引 地 敏 之	町民税務課長
7	谷 津 俊 幸	保健福祉課長
8	佐 藤 克 朗	子育て支援課長
9	今 村 勝 則	農林課長
10	大 槻 正 儀	商工観光課長
11	門 間 傳	建設課長
12	大 野 次 雄	原発事故対策室長
13	菊 地 一	学校教育課長
14	窪 田 高 広	生涯学習課長
15	渡 部 幸 治	議会事務局長
16	加 藤 義 則	農業委員会事務局長
17	佐 藤 弘	丸森病院事務長
18	阿 部 英 喜	農業創造センター研究部長
19	阿 部 光 夫	結婚相談所長
20	穴 戸 博 文	協働のまちづくり専門官

◆第五次丸森町総合計画策定専門部会名簿

部 会	分 野	所 属	氏 名
生活・環境部会	生 活 分 野	建 設 課	根 本 弘 半 澤 一 雄 八 巻 一 浩 池 田 恒 男 齋 藤 博 史
	環 境 分 野	原発事故対策室 町 民 税 務 課	菊 地 欣 也 谷 津 孝 弘 安 島 和 仁
健康・福祉部会	健 康 分 野	保 健 福 祉 課 子 育 て 支 援 課	新 道 宣 子 大 槻 公 谷 津 里 子
	福 祉 分 野	保 健 福 祉 課	谷 津 晶 一 穴 戸 浩 佐 藤 秀 子 齋 藤 直 美 目 黒 淳 一
	医 療 分 野	丸 森 病 院	木 村 静 夫
教育・文化部会	教育文化分野	学 校 教 育 課 生 涯 学 習 課	横 塚 智 志 佐 藤 徳 和 佐 藤 君 枝 齋 藤 公 男
	幼 児 分 野	子 育 て 支 援 課	小 野 浩 昭 八 巻 さ ち 子 山 本 佳 政
産業・観光部会	産 業 分 野	農 林 課 農 業 委 員 会	木 皿 理 小 野 良 孝 引 地 誠 坂 元 広 嗣 引 地 えり子
	観 光 分 野	商 工 観 光 課	穴 戸 光 晴 加 藤 あけみ
行政・財政部会	行 政 分 野	総 務 課 議 会 事 務 局	山 本 勝 宏 大 内 一 郎 横 塚 千 恵 加 藤 利 博 大 石 勝
	財 政 分 野	町 民 税 務 課 企 画 財 政 課	戸 村 壽 弘 松 野 宜 彦 八 巻 義 和 大 内 重 幸
	事 務 局	企 画 財 政 課	栗 野 由 三 長 門 修 水 上 博 一

◆第五次丸森町総合計画職員ワーキング名簿

No.	氏 名	所 属	No.	氏 名	所 属
1	阿 部 憲 裕	総務課	13	齋 藤 洋 寿	農林課
2	横 山 達	総務課	14	加 藤 将	農林課
3	大 槻 真奈美	総務課	15	八 島 大 祐	商工観光課
4	八 巻 孝 志	総務課	16	伊 藤 淳	商工観光課
5	菅 野 寛	企画財政課	17	天 野 裕一郎	建設課
6	高 橋 和希子	企画財政課	18	村 上 めぐみ	金山保育所
7	安 島 和 仁	町民税務課	19	齋 藤 由美子	館矢間保育所
8	佐 藤 幸	町民税務課	20	菊 地 和 美	学校教育課
9	木 幡 和 枝	保健福祉課	21	大 竹 恵	生涯学習課
10	鈴 木 健	保健福祉課	22	根 元 亮	生涯学習課
11	伊 藤 美沙子	子育て支援課	23	長 門 修	企画財政課（事務局）
12	岡 崎 俊 輔	農林課	24	水 上 博 一	企画財政課（事務局）

◆丸森町行財政審議会諮問書・答申書

【諮問書】

平成26年11月17日

丸森町行財政審議会
会長 秋葉 薫 殿

丸森町長 保科 郷雄

第五次丸森町総合計画基本構想の策定について（諮問）

このことについて、別紙案のとおり策定したいので、丸森町行財政審議会の意見を求めます。

記

諮問第1号 第五次丸森町総合計画基本構想（案）

【答申書】

平成26年11月19日

丸森町長 保科 郷雄 殿

丸森町行財政審議会
会長 秋葉 薫

第五次丸森町総合計画基本構想の策定について（答申）

平成26年11月17日付で諮問のあった、諮問第1号、第五次丸森町総合計画基本構想の策定については、原案のとおり異議ない旨意見を決定したので答申いたします。